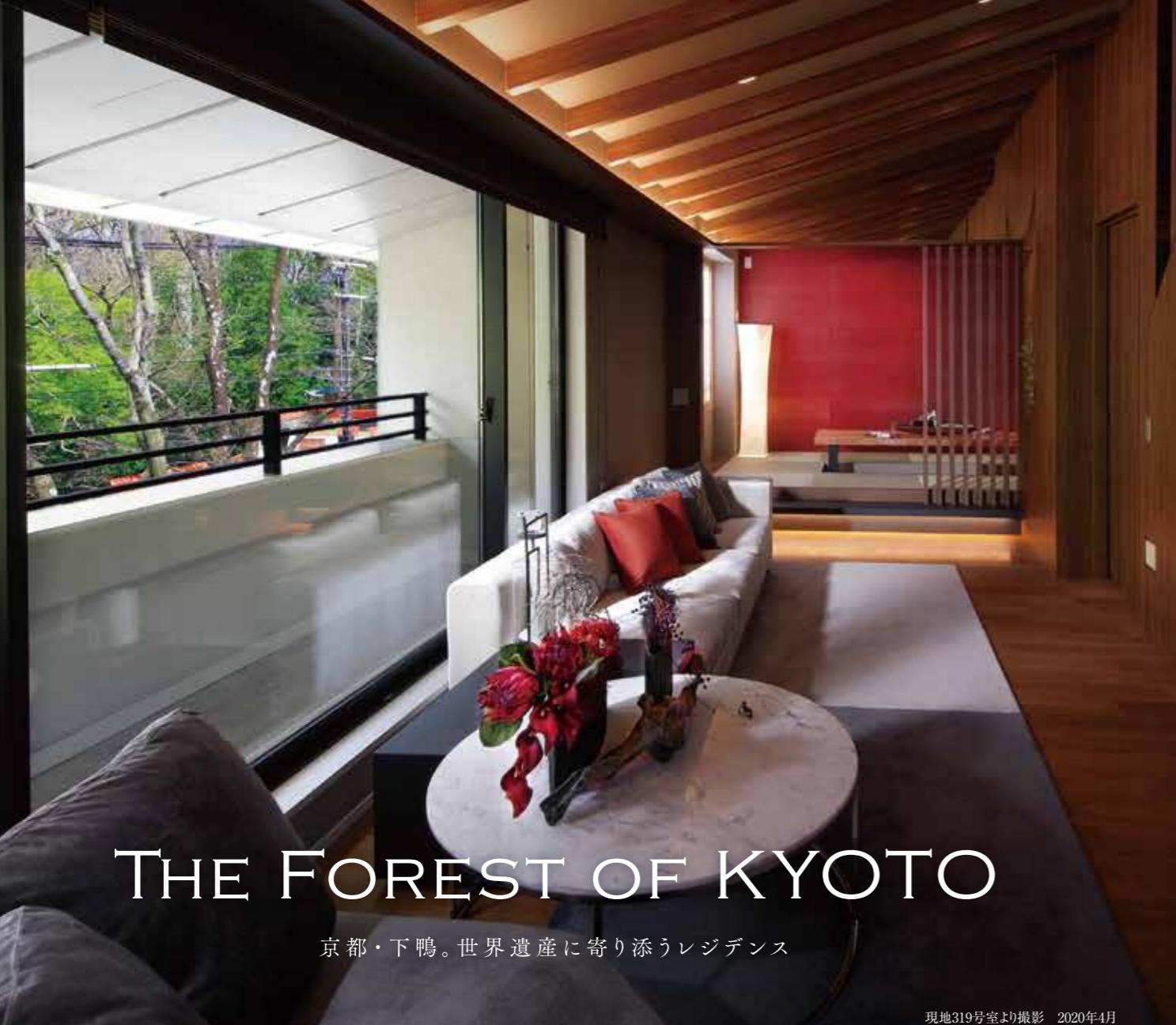


ドクターの貴方にお薦めするセカンドライフ



THE FOREST OF KYOTO

京都・下鴨。世界遺産に寄り添うレジデンス

現地319号室より撮影 2020年4月

分譲マンション「J.GRAN THE HONOR 下鴨の杜」物件全体概要 ◎所在地(地番)：京都市左京区下鴨泉川町60番、60番2○交通：京阪本線・鴨東線「出町柳」駅徒歩9分 ◎総戸数：99戸(会員分譲住戸30戸含む) ◎敷地面積：9,647.68m²(実測)、9,439m²(公簿) (A敷地2,431.70m²B敷地6,915.98m²自管理公園300m) ◎建ぺい率：容積率：40%~100% ◎建築面積：3,704.13m²(A敷地958.89m²B敷地2,745.24m²) ◎延床面積：9,433.37m²(A敷地2,372.40m²B敷地7,060.97m²) ◎構造・規模：鉄筋コンクリート造3階建 ◎地域・地区：第1種低層住居専用地域・準防火地域・10m高さ地区・風致地区第3種地域・下鴨神社周辺特別修景地域・眺望空間保全地域・近景デザイン保全区域・遠景デザイン保全区域 ◎建築確認番号：第H27確認建築京機構市00968号(平成28年1月6日)・第H27確認建築京機構市00969号(平成28年1月6日)・第H28変更建築京機構市00253号(平成28年6月29日)・第H28変更建築京機構市01333号(平成29年4月10日) ◎駐車施設：24台(平面駐車場、内1台は福祉対応用駐車場) [月額使用料27,000円、29,000円] ◎自転車置場：99台(内スライド式93台、2段式6台) [月額使用料100円、200円] ◎管理形態／運営：管理業務はJR西日本住宅サービス株式会社に委託 ◎建物竣工時期／平成29年5月竣工済 ◎入居時期：即入居可※諸手続き完了次第の入居となります。 ◎事業主・売主：JR西日本不動産開発株式会社国土交通大臣(2)第8441号(一社)不動産協会会員(公社)首都圈不動産公正取引協議会加盟(一社)不動産流通経営協会会員(5304005大阪市北区中之島二丁目2番7号06-16756130)施工：株式会社竹中工務店京都支店 ◎J.GRAN THE HONOR 下鴨の杜の仕事：先着順住戸概要◎販売戸数：4戸(間取り)／2LDK／専有面積：65.64m²～77.78m²専有面積は壁芯面積であり、登記面積はこれより少なくなります。◎テラス面積：8.57m²(該当住戸のみ) ◎サービスバルコニー面積：2.45m²～4.60m² ◎販売価格(税込)：5,980万円(1戸)～10,140万円(1戸) ◎管理費(月額)：44,850円～53,140円 ◎修繕積立金(月額)：11,790円～13,970円 ◎修繕積立一時金(引渡時一括払)：942,900円～1,117,300円 ◎管理準備金(引渡時一括払)：22,425円～26,570円 ◎申込場所：J.GRAN THE HONOR 下鴨の杜現地販売センター ◎お申込みの際は、実印と直近2年分の収入を証明できる書類、本人確認書類をご持参ください。 ◎契約の際は、「礼の森保存会」もしくは「下鴨神社崇敬会」の終身会員にならっていただくことが必須となります。 ◎先着順につき、販売済の場合はご了承ください。 ◎取引条件の有効期限／2020年8月31日 ◎定期借地権概要 ◎分譲後の権利形態：建物専有部分は区分所有権、建物共同部分は専有面積割合による所有権の共有、敷地は専有面積割合による借地借家法第22条、定期借地権(地上権)の準共有 ◎存続期間／2067年6月29日まで(建物解体期間含む) ◎期間終了後、借地を更地に戻して返還することが条件。建物の買い取り請求・契約更新及び改築等による期間延長は一切できません。敷金は期間終了後返却。 ◎地代(月額)：24,471円～28,997円 ◎地代(月額)：渡当初の金額であり、将来の改定により金額が変わる場合がございます。 ◎敷金(引渡時一括)：440,478円～521,946円 ◎解体準備金(月額)：3,540円～4,190円 ◎解体準備一時金(引渡時一括)：471,400円～558,600円 ◎備考：借地権の譲渡・転貸可(地主通知要承諾料不要) ◎譲渡に関しては、引渡日より3年を経過するまでは禁止するものとします。ただし、相続等による場合はこの限りではないものとします。 ◎掲載の概要是2020年5月25日時点の概要です。 ◎販売価格には消費税10%を含みます。



J.GRAN THE HONOR
下鴨の杜

〈事業主・売主〉
JR西日本不動産開発
〈施工〉
株式会社竹中工務店

J.GRAN THE HONOR 下鴨の杜 現地販売センター
0120-506-008 営業時間／10:30～17:30
定休日／水・木曜日
ジェイグラン下鴨
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休業する場合がございます。
詳しくはホームページをご確認いただけますようお願いします。

大阪医科大学 仁泉会ニュース

仁泉会ニュース 第51巻第4号
発行所
〒569-8686 高槻市大学町 2-7
電話
FAX 072-682-6166 072-682-6636
発行者
安藤嗣彦 発行部数 6,200 部
URL http://www.jinsenkai.net



令和2年度総会が開催されました



since 1927 OMC History

1926 大正15年	大阪高等医学専門学校設立認可願提出
1927 昭和2年	財団法人大阪高等医学専門学校設置認可
1929 昭和4年	大阪高等医学専門学校開校認可(修業年限5年)
1930 昭和5年	大阪高等医学専門学校附属看護婦学校設立認可
1935 昭和10年	本館・解剖館・別館・附属病院・臨床講堂竣工
1941 昭和16年	三島病院(附属病院)開院
1946 昭和21年	本館屋上塔に大時計を設置
1948 昭和23年	新講堂と生理学実習室竣工
1950 昭和25年	大阪医科大学設置認可(旧制大学)
1951 昭和26年	大阪医科大学予科設置
1952 昭和27年	医学部開學認可
1956 昭和31年	附属看護婦学校(新制度乙種)設置認可
1959 昭和34年	大阪医科大学大学院医学研究科設置認可
1965 昭和40年	大阪医科大学進学課程設置認可
1968 昭和43年	京都大学化学研究所跡土地建物と等価交換
1975 昭和50年	講義実習棟竣工
1977 昭和52年	創立50周年記念式典開催
1978 昭和53年	大阪医科大学附属看護専門学校設置認可
1979 昭和54年	体育館竣工
1982 昭和57年	大阪医科大学附属看護専門学校3年課程(全日制)設置認可
1990 平成2年	総合研究棟竣工
1994 平成6年	特定機能病院承認
1997 平成9年	本館・図書館棟竣工 創立70周年記念式典開催

学校法人大阪医科大学 大阪医科大学 創立100周年 記念事業募金 — 病院新本館建築 —



文字通り、ゼロからの出発
何もない更地に、学舎をつくる。重機などを満足に調達できない中、多くの作業工程は学生と職員による「手作り」。その姿は「人間の手を介した医療」の象徴のようにも映ります。

目次



- | | | |
|-----|------------------------------------------------------------|----------------|
| P4 | 令和2年度仁泉会総会 開催報告 | |
| P16 | 祝・入学 | |
| P17 | 同窓会 三三会開催のお知らせ | |
| P18 | 祝・摂南大学特任教授ご就任！ 坂根貞樹先生（学30期） | |
| P19 | 祝・大阪医科大学病院病院長ご就任！ 南敏明先生（学36期） | |
| P20 | 受章・受賞報告
横山闘先生（学15期） 小川翼先生（学18期） 辰見宣夫先生（学11期）
受章のお知らせ | 安藤嗣彦（学20期） |
| P21 | 辰見宣夫先生「日本医師会赤ひげ功労賞」受賞の報告
東雲出張版 | 上野豊（学27期） |
| | 仁泉ひろば | ころ（医学部3回生 文芸部） |
| P22 | COVID19に想う | 安藤嗣彦（学20期） |
| P23 | 会員著書 文珠敏郎先生（学11期）
声の悩みを解決する本
大切な声を守り続ける本 | 二村吉継（学49期） |
| | 文珠敏郎先生（学11期）に寄せて | |
| P24 | 冊子切抜 井尻慎一郎先生（学31期）
記事のご紹介 | 安藤嗣彦（学20期） |
| P25 | 冊子切抜 長谷川彰彦先生（学51期） | |
| P26 | エッセイ | 西村保（学4期） |
| P27 | まんが | 本ちゃんぽん太（学31期） |
| P28 | 本部だより
会員訃報 | |
| P31 | 編集後記 | |

ご支援のお願い

大阪医科大学は、私立大学として篤志家によって設立され、卒業生のお力添えをいただきながら、維持・運営され、成長してきた歴史があります。皆さまの温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

要項

募金目的 大学病院新本館建築に係る資金の一部、並びに学生支援体制の充実を図る

募金目標額 10億円

募集期間 2018年10月～2027年3月

金額 個人 1口1万円、法人 1口10万円

顕彰 個人、法人ともに5口以上ご寄付いただいた方は、

銘板にご芳名をし、末永く顕彰いたします

特典 個人10口以上、法人5口以上ご寄付をいただきました方は、

健康科学クリニックの人間ドック(基本コース)1回分の無料健診券を進呈します。

申込方法

大阪医科大学募金サイトよりお申込いただくか、募金推進本部までご連絡ください。
<https://www.osaka-med.ac.jp/deps/bokin/>

税制上の優遇措置

学校法人大阪医科大学は特定公益増進法人であり、大阪医科大学に対するご寄付は所得税・法人税・相続税の税制上の優遇措置を受けることができます。
また一部の自治体では、個人住民税の税額控除の対象となります。

令和2年度 仁泉会総会 開催報告

5月31日（日）母校新講義実習棟P101講義室にて令和2年度仁泉会定期総会が開催されました。

当日の出席者は23名で、午後3時より開催されました。総会議長は寺村和久先生（学37期）が選出され
令和元年度の事業報告、令和2年度の事業計画及び収支予算の報告がなされました。総会議案として
令和元年度収支決算案について審議がなされ原案通り可決承認されました。

本年度は、新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止の為に、場所を京都から母校へと変更し
評議員会及び懇親会は中止と大幅に規模を縮小させて頂いた他、委任状でのご出席のお願いをさせていただきました。

諸先生におかれましてはご理解とご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

来年度は5月最終日曜日に神戸にて開催予定です。

当日の安藤理事長のご挨拶と植木 實理事長、大槻勝紀学長より母校の近況報告をいただきましたので掲載させて頂きます。

令和2年度仁泉会総会 理事長挨拶

大阪医科大学 仁泉会 理事長 安藤嗣彦

新型コロナ感染症の全国的な蔓延による緊急事態宣言が解除されたとはいえ、先生方におかれましては、日々の診療や教育に御苦労、御心配の多い事と推察いたします。

この様な時に、仁泉会総会を心苦しく存じますが、大阪医科大学仁泉会は、奨学金貸与や学会学術振興研究事業援助等の事業の関係で一般社団法人として設立されています。従って年に1回の総会の開催とその内容を大阪府に届け出る事が義務付けられており、例年通り5月の最終日曜日に開催する事となりましたので御理解の程お願いいたします。

本来ならば、令和2年度の総会、評議員会、懇親会を京都のホテルグランヴィアで開催すべく、昨年より準備してまいりましたが、新型コロナ感染症に対しての、政府並びに自治体の三密防止の徹底に伴う自粛要請に伴い、会場の変更、総会の短縮を決断するに至りました。新規の会場に苦渋しましたが、大学当局の御配慮で本学講堂をお借りし、本日の開催となりました。改めて厚く御礼申し上げます。又、当番支部の京都支部の先生方に御迷惑をかけいた

しました事をお詫びいたします。

本日の総会は、三密の厳格な順守の関係で、評議員会、懇親会は中止とさせていただきました。尚、令和2年度の総会における報告事項、議案等につきましては、予め仁泉会ニュース第51巻第3号に提示し、賛否についても委任状も同封し、必ず返信をいただく様お願いいたしました。

では只今より令和2年度の仁泉会総会を開催いたします。本日御出席いただいた会員並びに役員の先生方には御多忙の毎日、休日の午后にも拘らず御出席いただき、誠にありがとうございました。来賓として御出席いただいた、植木 實理事長に感謝申し上げます。



令和2年度 仁泉会総会 ごあいさつ - コロナ禍への対応と 法人活動報告 -

学校法人 大阪医科薬科大学 理事長 植木 實

この度の仁泉会総会は、新型コロナウィルス感染症拡大の影響で縮小した規模で行われましたことは残念でしたが、これもこの時節における社会的責務の1つと考えます。平素は仁泉会の皆様には本学法人が大変お世話になっており、厚く御礼申し上げます。

昨年11月頃に中国で発生した新型コロナウィルス感染症（COVID-19）は、瞬く間に全世界に拡散され、特にアメリカやヨーロッパ主要国で猛威を奮い、肺炎を中心とする様々な重篤な病変によって多くの死者が出るなど、各国で医療崩壊を起こしています。幸いなことに、本邦では感染者のオーバーシュートは生じず、クラスターの発生も少なく抑えられ、深刻な医療崩壊が起きなかったことは喜ぶべきことあります。

大阪医科大学病院においては、特定機能病院であり一般重症患者が多数入院する状況の中、地域社会及び行政の強い要請に基づいて同感染者の、特に重症患者を中心に受け入れることになり、4月10日に重症者用としてICU10床と、独立換気のできる病棟の43床を準備し、行政に届け出を行いました。その後、軽症中等症患者15名及び重症患者6名の入院と、外来では別棟の隔離室において感染の症状のある155名の診療が行われました。これらの入院されていた同感染患者は、大阪府内の陽性患者の減少とともに、5月19日を以て全員退院されました。この間、医療従事者や他の入院患者に一人の感染者も出していないことは、特筆すべきことであります。

このコロナ禍は、いつ、どんな形で完全な収束に

向かうのか、尚、不透明でありますが、国民の生活様式と仕事の形を変えつつ、的確な治療薬の開発と、ワクチンの開発・製造をもって制圧されると思われます。

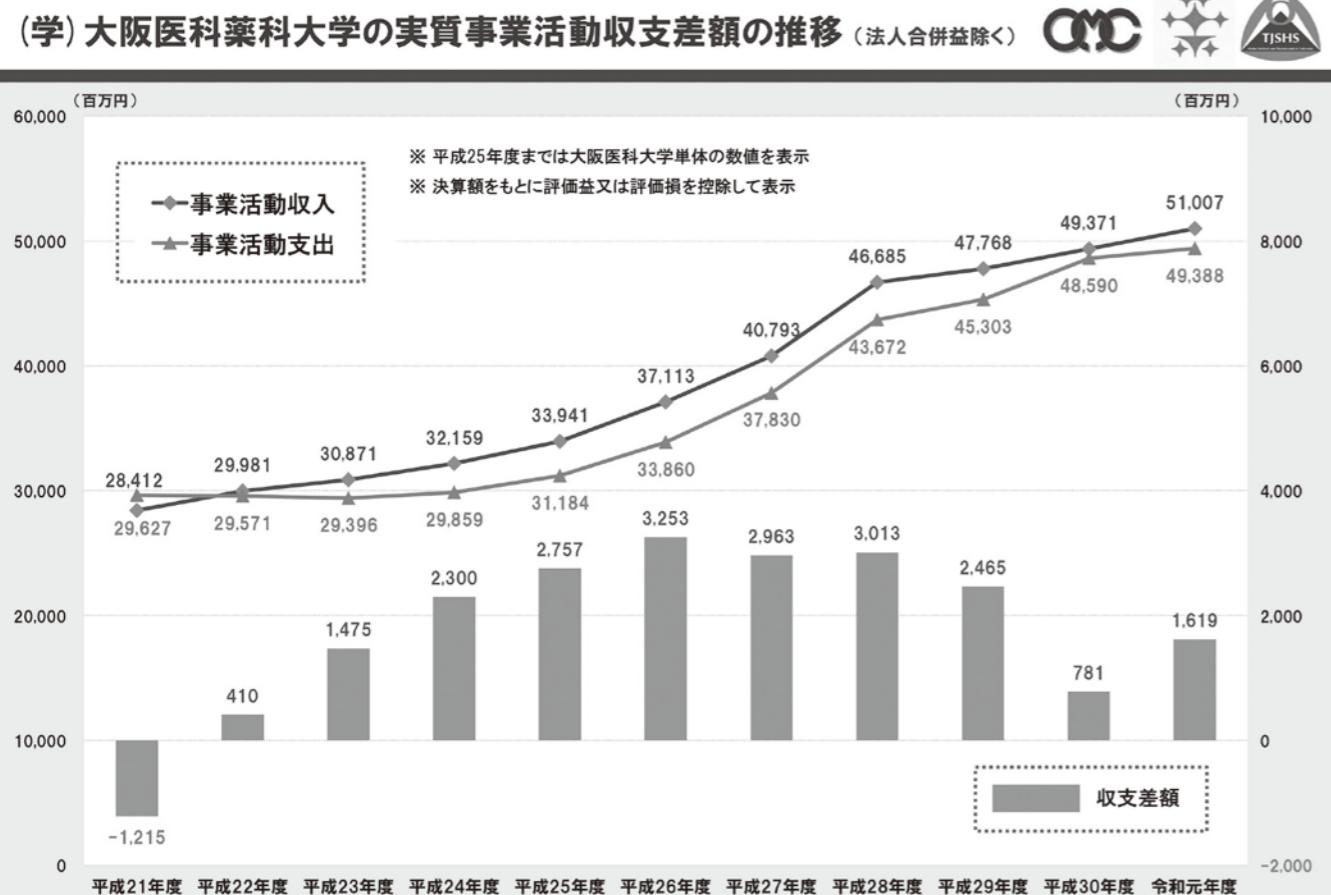
今、仁泉会諸氏は、診療という現場に立ちながら、COVID-19という見えない相手とも日夜闘っておられることと拝察します。我々医療人は、おそらく長期戦になるであろうこの感染症の抑制から制圧まで対応し、日本が誇る国民皆保険制度を崩さないようにしながら、医療を守っていかねばならないと思います。

次、令和元年度における大阪医科大学及び本学法人の活動の現状について述べたいと思います。

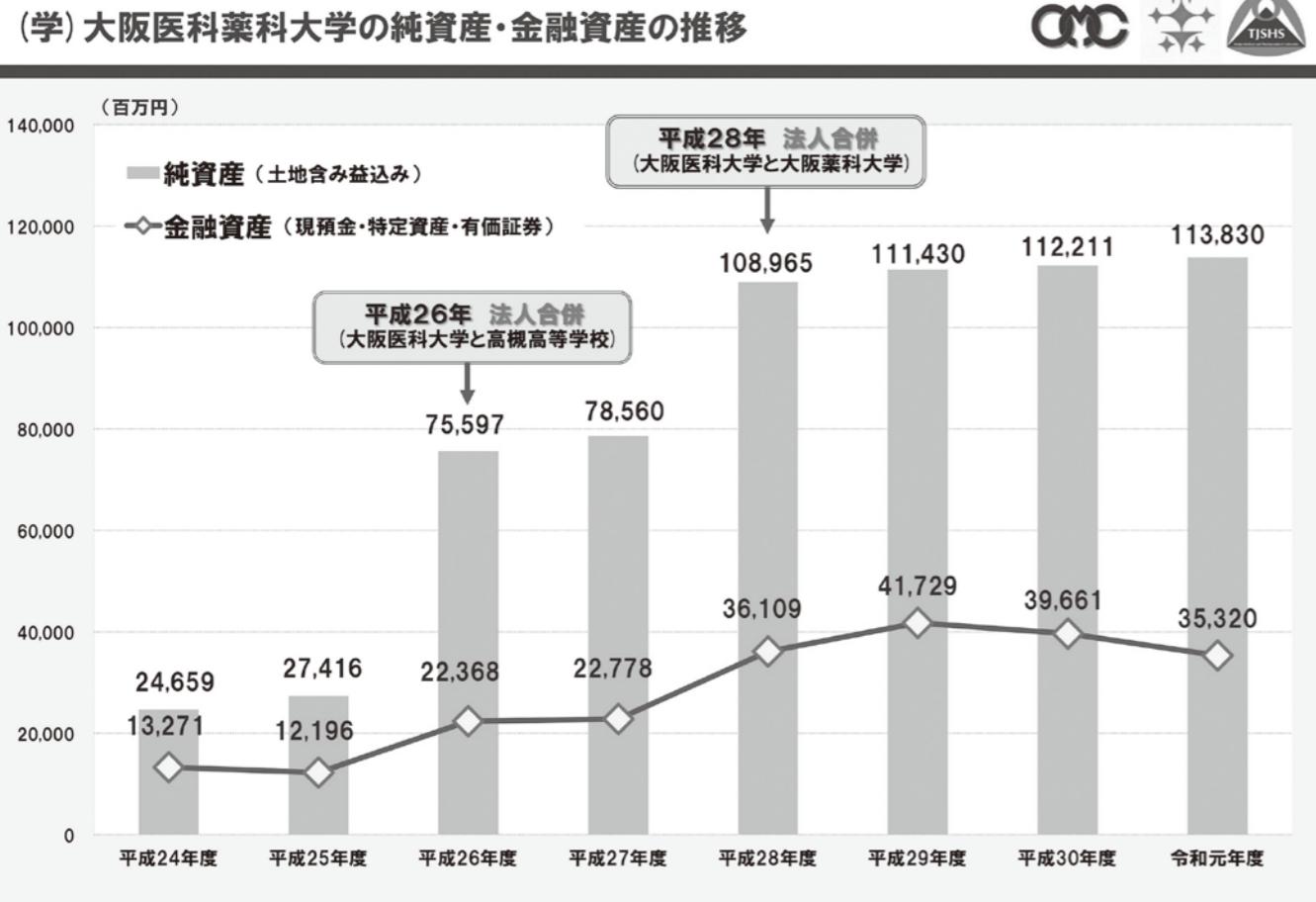
一昨年（平成30年）度は大阪北部に発生した地震を含め多くの自然及び人為的災害により、大学病院の収支差額は黒字は保ったものの大幅な減収になりましたが、昨年（令和元年）度は収支差額のV字回復を謳い、教職員全員の努力で第三四半期まで好調でした。しかし、新型コロナウィルス感染症拡大で2月と3月は外来及び入院患者の減少、並びに感染予防対策への経費や対応などにより、感染症の影響が経営面に明確に表れました。従って、法人収支の70%を占める大学病院の収支差額は、前年比でかなり回復したものの10.1億円（概算値）に止まり、法人全体では16.2億円となりました【図1】。尚、本学法人の純資産は1,138億円（土地含み益込み）と増加しています【図2】。

今年（令和2年）度は、コロナ禍中の緊急事態宣言下に始まり、法人内各学校は入学式を催せないまま、医大及び薬大の学生は登校できない事態が続いていました。その期間はインターネットを使ったオンライン授業を行っていましたが、実習等はできないうままで、6月上旬からようやく変則的な授業が開始されています。6月下旬からは、次第に正常な授業形態に戻る予定です。

また、大学病院のコロナ禍による4月から5月の被害は甚大で、5月下旬より緊急事態宣言解除を受けて、少しづつ外来・入院患者数は戻ってきていま



【図1】



【図2】

す。医療機関には今回の感染症拡大やその対応に対する様々な補助金の交付があるやに聞こえますが、正確には判らず、皆さんの医院、病院や、本大学病院の経営も心配されます。

一方、法人として進める事業には、令和3年4月1日に行う大阪医科大学と大阪薬科大学の統合があり、そのための準備として寄附行為の改正、ITシステム（情報・人事・財務）の統合、本部機能の強化などが挙げられ、文部科学省の指導に基づく書類の作成・届出を行う予定です。

また、現在進めている病院新本館を含めた大学病院全体建替え事業は、既存建物（病院5号館及び臨床講堂棟）の解体がほぼ終わり、今年8月には地鎮祭の後、建築工事が始まります。工事はマスター工事【図3】に沿って行われ、創立100周年を迎える2027年に完成予定です。

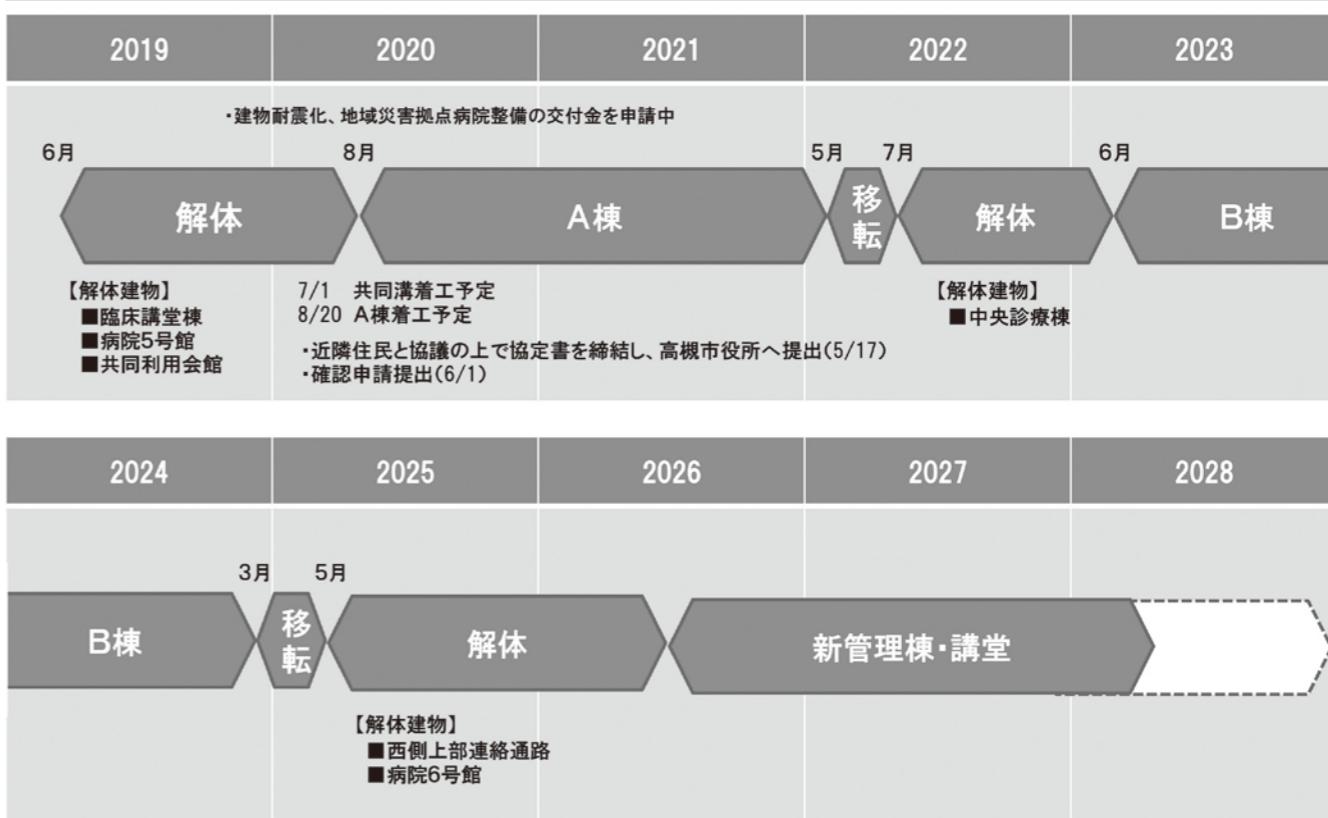
今年度初めの混乱の中で唯一うれしいニュースとしては、本法人が5～6年前から準備し、本邦の大学病院として初めて設置した関西BNCT共同医療

センターのがん治療が開始されたことです。今年2月と3月に薬機承認され、双方の費用価格が決まり、6月1日に保険収載されたことから、本院では6月17日に第1例目の頭頸部がん患者のBNCT治療が行われ、成功裡に終わりました。当初は進行した頭頸部がんと脳腫瘍が対象ですが、順調に症例を重ねていき、いずれ多くの臓器がんへと対象を広げて参ります。本法人が長年夢を育んできた、世界にない、他大学にもない、世界が注目する手法として高い独自性を発揮すると思われる画期的治療法が実施できることは感無量で、皆様とともに喜びたいと思います。

以上、皆様には本学法人の新型コロナウイルス感染症に関する大学病院の対応と、今年度の事業計画をtopicsとしてご報告致しました。

本学法人は、今年度の運営・経営はコロナ禍中のスタートとなりましたが、法人スローガンを『Society5.0の実践』と定め、各施策への展開を図り、安全・高質なSuper Smart教育・研究・医療の実

病院新本館建築工事 マスター工事



【図3】

現に努力して参ります。

本邦は、しばらくは新型コロナウイルス感染症との共存が続くと考えられることから、「三密の回避」、「マスクの着用」や「仕事のあり方」などを考慮した「新しい日常」を構築しつつ、持続可能な社会(sustainability)の実現を追求せねばならないと思います。

仁泉会諸兄におかれましては、時節柄ご自愛いただき、地域医療でのご活躍を祈念申し上げまして、ご挨拶と致します。



仁泉会総会 学長挨拶

大阪医科大学 学長 大槻勝紀

仁泉会会員の皆様、学長の大槻です。今年度の仁泉会総会は新型コロナウイルス感染の影響を受け、規模を縮小して本学新講義実習棟 P101 教室で開催されるとお聞きしました。特に臨床を行っている先生方はコロナ対策で多忙な日々を過ごされていることと思います。本学病院では 77 病棟と ICU でコロナ患者を受け入れ、救急診療科をはじめ多くの診療科医師、看護師、事務職が命懸けで対応しています。マスクや防護服などの医療物資が不足する中、大学との取引の有無に関わらず多くの企業や保護者を始めとした多くのステークホルダーの皆様からご支援を受け、院内感染を防止しつつ診療を続けているところです。教学面においては 4 月上旬から医学部と看護学部の学部学生並びに大学院生に対して登校を禁止しています。医学部では 4 月 6 日から、看護学部では 5 月 7 日から全学年に対して on demand による遠隔授業を開始し、学生の学力低下だけは避けるように教職員が教職協働で努力をしているところです。特に新 1 年生は 4 月上旬に一度大学でオリエンテーションを受けただけでそれ以降、対面講義がなく顔の見えない遠隔授業で毎日を過ごしており、学長として苦慮致しています。また 5、6 年生は普段なら今頃、Student Doctor として各診療科外来や病棟でチーム医療を実践し、病院内を闊歩しているところですが、各診療科に学生を配属できないため、各グループ担当の先生方から学生に遠隔授業で課題を与えて臨床の疑似体験を企画し、また 5、6 年生全体に対しては国試対策を実施するにとどまっています。コロナウイルスの感染がやや終息に向かう中、学生の勉学に対する motivation の維持、健康状態の確認やカリキュラムの変更説明などを目的として、5 月 18 日の週から学年ごとに曜日を替え、

「3 密」に注意しながら学生を登校させます。地方にいる学生は医学部では約 30% いますが、当日の模様を録画し医学部、看護学部の欠席者に配信する予定です。できれば 6 月 2 日（6 月 1 日は本学の創立記念日で休校）から実習を中心に、「3 密」に注意して少しづつ学生を登校させる予定です。現在、学生の講義室を病院側に提供し少しでも教学面から臨床をバックアップできればと考えています。また学 II 講堂で職員が、自宅や下宿で学生がボランティア活動の一環としてゴミ袋を利用してエプロンを、クリアファイルでフェースシールドを作成し、病院を後方支援している話を聞き感謝に堪えません。学生はコロナ感染により急激な社会構造変化を体験し、その中から将来自分が医療人としてどのように社会貢献ができるのか、どのような医療人を目指していくのかを考えるいい機会になったと思います。本来なら仁泉会総会で会員の皆様方に昨年度の教育・研究についてお話しする予定でしたが、コロナ禍のため、仁泉会ニュースの紙面をお借りし教学面での活動について報告をさせていただきます。

これまで学長に就任して以来、5 つの教学改革方針を公表し、それに基づき改革を進めてきました（図 1）。

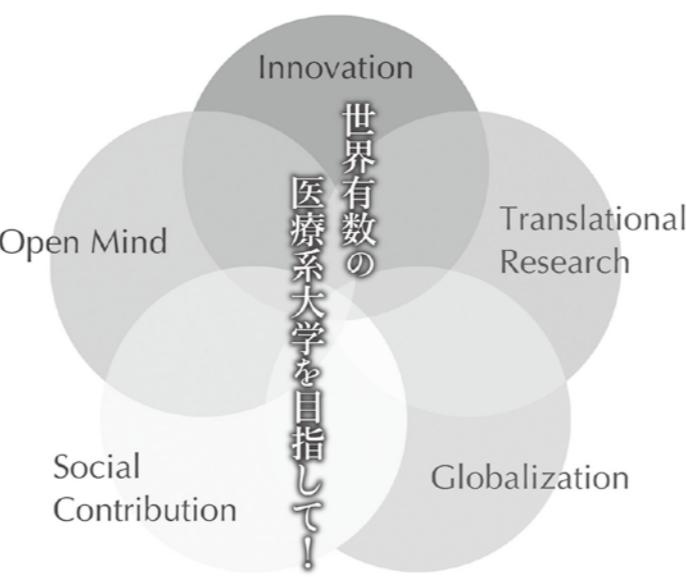


図 1

昨年度前半は再生医療不正に関する Bad News が先行し、仁泉会会員の皆様方にはとてもご心配を

おかけいたしました。この件については後程、経緯を報告させていただきます。後半になってうれしいビッグニュースがいくつか続きました。まず初めに医師国家試験からご報告させていただきます。

【1. 第114回医師国家試験の結果(図2)】

医学部: R1 年度医師国家試験 新卒、既卒ともに 100% は本学創立以来 初の快挙。(新卒 100% は 3 度目)
看護学部: R1 年度看護師、助産師、保健師の新卒、既卒すべて 100%
看護師国家試験はほぼ毎年 100%

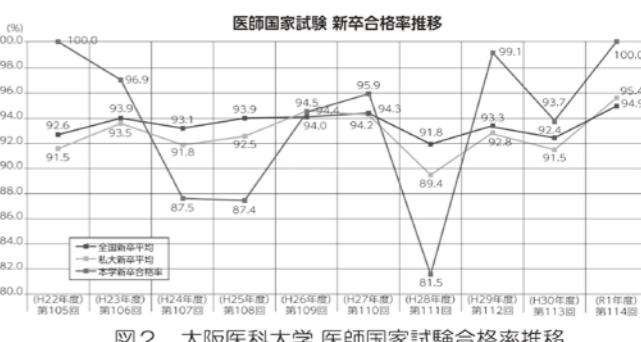


図 2 大阪医科大学 医師国家試験合格率推移

今回の本学の新卒医師国家試験合格率は 100%、既卒も 100% で全国 1 位（自治医大、産業医大と同率 1 位）で、本学創立以来の快挙でした。現役合格率 100% は今回で 3 回目になります。2016 年度の医師国家試験において悪夢のような新卒合格率 82% を経験して以来、2017 年度 99%、2018 年度 94% そして 2019 年度 100% と V 字回復となりました。これもひとえに教職員のご指導と新卒及び既卒者の頑張りによるものであり、この紙面をお借りして感謝申し上げます。来年も好成績を残せるよう学長として責務を果たしていきたいと思います。また看護学部においても看護師、保健師、助産師ともに新卒合格率は 100% と両学部ダブルで良い結果が残せました。

【2. 公的研究資金の獲得】

今年度の科学研究費補助金の採択件数（新規 + 継続）は 159 件、交付内定額 217 百万円で、2011 年度と比較すると採択件数で約 2 倍、交付内定額で約 1.5 倍に増加しました。また研究者の三人に一人が科研費を獲得していることになります（図 3）。

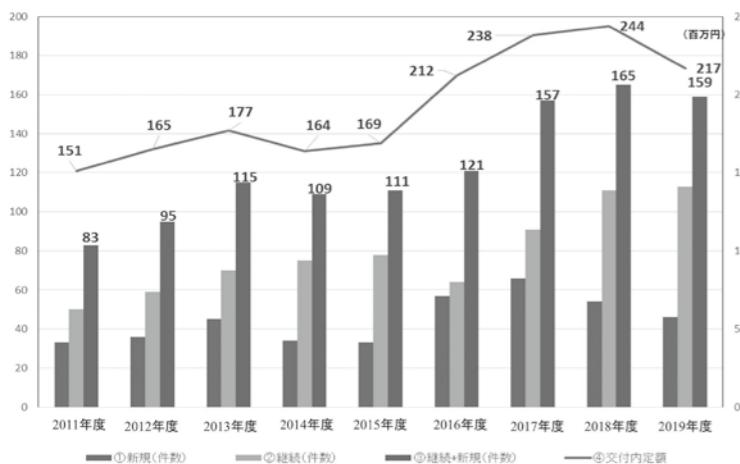


図3 科研費の採択数及び交付内定額推移

- 私立大学等総合改革支援事業タイプ1～4全てに採択され（私立大学650校中、本学を含めて5大学）、日本の私立大学でトップになりました（図4）。
- 本学はこれまで AMED（日本医療開発研究機構）の研究資金の獲得に成果を上げており、いくつかの研究者のアイデアが商品化されようとしています。これまでに獲得した AMED の研究費は 929,385 千円に上ります（図5）。

令和元年度文部科学省「私立大学等改革総合支援事業」4タイプ全てに選定

*全申請校652校中、全4タイプに選定されたのは5校のみ

	申請校数	選定校数	選定率
タイプ1 【特色ある教育の展開】	583	178	31%
タイプ2 【特色ある高度な研究の展開】	74	40	54%
タイプ3 【地域社会への貢献】 地域連携型	234	55	24%
プラットフォーム型	195	131	67%
タイプ4 【社会実装の推進】	99	52	53%

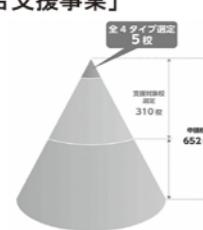


図4 令和元年度私立大学等改革総合支援事業 選定数

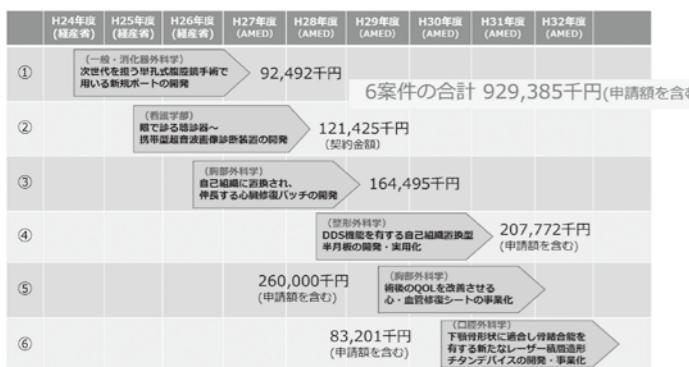


図5 AMED医工連携事業化推進事業の獲得状況

【3.入試改革】

本学の2019年度の入試は一般入試前期・後期以外に地域枠、研究医枠およびAO入試「建学の精神」入試を実施しました。しかし18歳人口の減少と医学部人気に陰りが見え始めた影響で昨年度に比し、全国的に志願者数が若干減少しましたが、本学においても同様の結果でした。2017年度から始まった「建学の精神」入試は、大学入試センター試験の成績で足切りをしますが、小論文と面接を重視し、本学に入学したい意志の強い受験生に入学を許可しています。今年から授業料の減免制度を導入し、昨年に比し多くの受験生が「建学の精神」入試に応募してくれましたが、最終的には1名がこの制度で入学しました。また、昨今の医学部入試に関する不祥事により、医学部入試において女子や多浪生に対しての差別が社会問題になっています。本学の性別や現役浪人比率に関する入試データをお示します（図6、7）。過去5年間の志願者において女性の志願者比率と入学者比率はよく相關しており、本学の女性入学者比率は30から40%の範囲にあります。女子校として創立された大学と比較して、男子校であった本学は現在もその影響により女子の志願者や入学者の比率が低いのかもしれません。多浪生についても過去5年間の現浪比率は志願者比率と入学者比率はよく相關し、多浪生の入学者比率は80%前後で、一浪の入学者が最も多い傾向にあります。

本学入試の男女比率

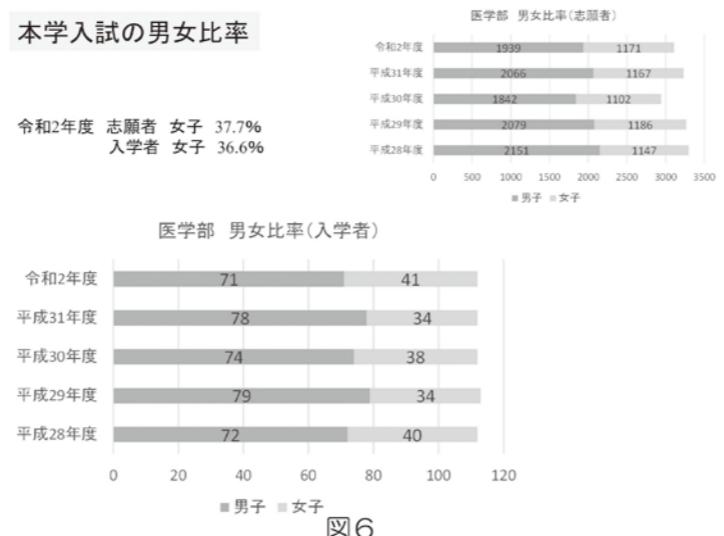


図6

本学入試の現浪比率

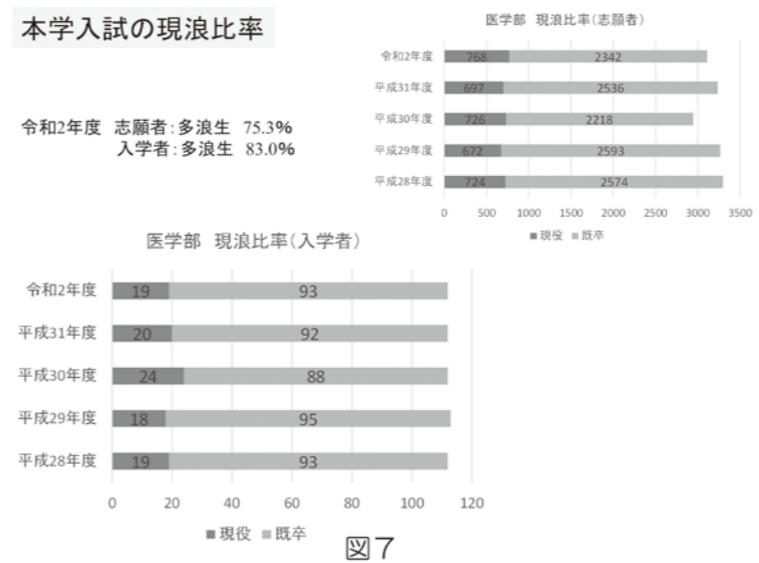


図7

【4.教育】

第3学年まで新カリキュラムを実施しています。新カリキュラムでは、第4～6学年で大幅な臨床実習期間の延長（46週から66週へ延長）や学生研究などが組み込まれています。学生研究は学生の間にResearch Mindを植え付けることが狙いです。第1学年で研究ノートの作成法を学んだり、TOEFLの英語検定を受けます。第3学年で2か月間に渡り研究室に配属されて実験し、第4学年で研究成果のまとめを、第5学年で研究発表を行う予定です。

学務部から1名をe-managerとして教育センターに配置し、文科省やJACME（一般社団法人日本医学教育評価機構）などから要請のあった様々な医学教育改革に対して情報を収集し、医学教育センターとともにに対応しています。

多職種連携教育 Interprofessional Education (IPE): 2021年4月1日に本学と大阪薬科大学が大学統合する予定です。医学部、薬学部と看護学部を持つ医療系総合大学として発展していきます。さらに、教育においてはIPEを特化して医療系大学としての特徴を出していきます。

(現在行っている IPE)

- 医療人マインド（医・看第1学年）
- 専門職連携医療論（医・看第2学年）

- 医看融合カンファレンス（医・第5学年、看・第3学年）

- 多職種融合ゼミ、多職種連携地域医療実習（医・第6学年、看・第4学年）

大阪薬科大学の一部学生は現在、上記のIPEのカリキュラムに参加しています。

【5.国際化】

中山国際医学医療交流センターの組織強化

本センターの活動を強化する目的で、専任講師を1名及び事務職員1名を採用しています。現在、海外の10大学と学生の国際交流に関する包括協定を締結しており（図8）、毎年30名程度の本学学生が協定校で短期留学しています。2019年2月に本学はJACME（日本医学教育評価機構）から高い評価を受け医学教育分野別評価（国際認証）に認定されました。それにより2019年に国立台湾大学と単位互換を前提に協定を結び、本年から国立台湾大学の学生を受け入れるとともに、本学学生が国立台湾大学に短期留学し単位を修得します。今後は、シンガポール国立大学やマニラ大学などと単位互換の協定を結びます。

医学部

ハワイ大学医学部	2007年3月1日協定締結
中国医科大学	2008年3月6日協定締結
マニラ大学附属シリラート病院(タイ)	2009年3月5日協定締結
韓国カソリック大学	2010年3月4日協定締結
アムール医科大学アカデミー(ロシア)	2010年10月1日協定締結
台北医学大学	2012年3月1日協定締結
シンガポール国立大学	2014年2月5日協定締結
ソウル国立大学	2014年10月20日協定締結
ベトナム国家大学ハノイ校	2016年6月9日協定締結
国立台湾大学	2019年4月24日協定締結

看護学部

- 国立台湾大学
- 米国ミネソタ州マンケート大学

*今後、医学部においては協定を結んでいる外国大学と単に学生の交流だけでなく、単位互換を積極的に進めしていく。

図8 中山国際医学医療交流センター 国際交流締結校一覧

【6.社会貢献】

1) 産官学連携事業

2017年11月に文部科学省の大型プロジェクトである私立大学研究プランディング事業タイプAに採択されました。事業内容は健康寿命の延伸を目的とした「たかつきモデル」(図9)を構築することです。具体的には本学、商工会議所、高槻市による産官学連携事業であり、現在、高槻市民参加型の口腔機能、唾液内の口腔内細菌の分析やインターバル歩数などを実施し、そこから得られたビッグデータを元に、市民の健康寿命の延伸のための施策を提案していきます。しかし、研究プランディング事業は新聞報道等でご存知のように2019年度で打ち切りとなり、本学の「たかつきモデル」の創出事業も3年間で終了することになりました。これまで産官学(高槻商工会議所、高槻市、本学)が中心となり市民参加型の運動やイベントを展開し、ようやく結果が出だした時だけに残念でなりません。今後は法人やサンスターから研究費をいただき、本事業を継続させていくとともに、その成果をたかつき市民に還元していきたいと思います。

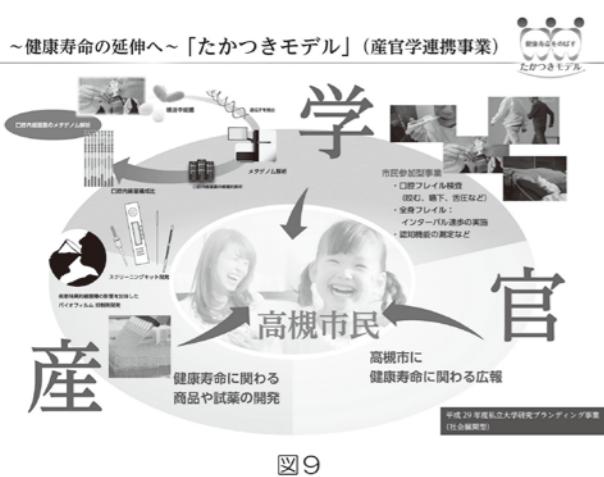


図9

2) 本学と高槻市とのサステナビリティ事業

・医工薬連環科学プロジェクト

大阪薬科大学、関西大学及び大阪医科大学による小中学校への理科出前講義、夏季の自由研究コンテスト、大学間の双方講義や市民を対象とした市民公開講座などを毎年行っています。本事業を通じて

高槻市の教育分野に貢献し、48中核都市の「幸福度ランキング」の向上を目指します。

・食育・オーラルケアプロジェクト

ゲノム解析による先端技術を用い、口腔内細菌や糖尿病などの疾患との関連性について、本学医学部を中心に高槻市や企業との産学連携により解明を目指します。本学は高槻市、高槻商工会議所と協定書を締結し、高槻市の協力を得て、その成果と口腔内ケア及び食育の重要性を市民に伝えていきます。

・認知症専門人材育成プロジェクト

少子高齢化時代を迎える高槻市においても2015年の高齢化率は27.1%で、2025年には29.1%と予測されています。今後、特に75歳以上の後期高齢者の占める割合が高くなり認知症患者の増加が予想され、認知症患者に対する介護予防活動の重要性が指摘されています。認知症患者に関わる多職種(看護師、ヘルパー、ケアマネージャーなど)を対象とした人材育成のための教育プラットホームを本学が担い、高槻市民の健康寿命の延伸に貢献していきます。このプロジェクトも食育・オーラルケアプロジェクトとともに、2018年度高槻市施政方針大綱の重点施策に掲載され、高槻市から予算をいたいでいます。

【7.再生医療安全性確保法の違反事件】

昨年5月31日、本学元講師が大学や国の所定機関に無届で、医療施設でない実験室において再生医療を行ったことが判明しました。直ちに内部調査委員会を起ち上げ同講師を含む関係者から事情聴取を行い、法人に調査結果を報告するとともに懲戒委員会が設置されました。また6月10日には厚生労働省近畿厚生局や高槻市保健所等に報告するとともに6月13日に任意の事情聴取を受けました。法人においては8月8日に同講師に諭旨解雇処分を言い渡しました。同講師はその後、1月15日に「再生医療安全性確保法違反の容疑」で逮捕され、1月29日に処分保留で釈放されました。今後は厚生労働省の医道審議会で新たな審判が下るものと思います。

いずれにしてもこのような事件が本学で起こった事実を学長として深く受け止め、直ちに教職員に対して研究のコンプライアンスに対してFDを実施するとともに、研究支援センターの体制整備や諸規定の見直しを行い、再発防止に努めています。

来年4月1日に本学は大阪医科薬科大学として医学部、薬学部と看護学部を有する医療系総合大学に生まれかわります。学長選挙については医学部・看護学部教授会はこれまで通り教員の投票により選出することを理事会に要望致しました。しかし、連続2期以上の任期を務めた学長経験者以外の者から理事会で新学長を決定することになりました。そのため、私は学長になって2期目に入り、来年3月末に任期を終ることになります。この間、様々な経験をさせていただきましたが、教育、研究については十分な改革を実行し成果を上げたと自負しています。これも一重に教職員や仁泉会会員の皆様を始めとした多くのステークホルダーのご支援、ご協力のお陰と感謝申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝、および新大学の発展を祈念してご挨拶に代えさせていただきます。



ご投稿のお願い

会員相互および母校とのコミュニケーションや情報交換の場として「仁泉会ニュース」を引き続き利用していただきたいと思っています。会員の先生方より本誌に対する忌憚のないご意見をいただき、同窓会の活動をさらに充実させていきたいと考えています。

下記の要領にて、多くの会員皆様からの投稿をお願いします。

- 支部会、クラス会、趣味の集会などの案内や報告
 - 「仁泉ひろば」のコーナー
 - 研究論文の要約（以前に他誌に投稿された内容でも結構です）
 - 随想、紀行、写真、絵画、俳句、短歌、川柳などの趣味や特技
 - 紹介したい店、場所、物など
 - 本誌に取り上げて欲しい話題
- 字数には制限は設けません。葉書1枚、便箋1枚でも結構です。
- 広告に関して
- 会員自身が出される広告は現在100字程度までは無料です。内容は、人材募集、開業場所の紹介、医院承継、ブライダル、趣味の発表会の案内などです。詳細については事務局までお問い合わせ下さい。
- (内容により有料の場合があります)

事務局編集係

令和元年度 事業報告書

1. 学術研究振興援助事業

令和元年度は申請が3件あり、それに対し助成を行い、機関紙仁泉会ニュースにて報告を行った。

第33回日本神経救急学会

第26回小児高血圧研究会

第26回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会

2. 奨学金貸与事業

令和元年度に採用された奨学生は8名であり、各々年額60万円の奨学金を貸与した。

令和2年度3月末日の奨学金貸与総額は36,643,000円である。

3. 本部諸事業に関する事項

1) 大阪医科大学への後援事業

- ①母校の募金活動の広報協力を行った。
- ②令和元年度卒業生の太田紅仁香（おおたもにか）君に対して仁泉会理事長賞を授与した。
- ③母校の西医体活動に援助を行った。
- ④母校の学園祭に援助を行った。
- ⑤母校の活動報告として、学報及びOMCニュースを年4回全会員に向け発送した。
- ⑥母校の既卒者国家試験合格支援として、援助を行った。
- ⑦在学生に向けた「学生生活虎の巻」と題した講演会及び交流会を年1回行った。

2) 会員の福利厚生への事業

- ①会員の動向把握を行い、物故会員52名に対して供花料及び弔電を送った。
- ②会員相互の親睦交流を深める為に、令和元年度中に企画されたクラス会の開催について案内状発送事務の支援を行った。
- ③令和元年度の長寿会員に対して傘寿祝の記念品を贈呈した。
- ④洪水被害にあった会員1名に見舞金を送った。

3) 仁泉会組織強化に関する事業

- ①支部会開催にあたり、案内発送等の事務支援を行った。
- ②本部支部間の連絡並びに学内の状況説明のため16回支部へ役員を派遣した。

4) 全国私立医科大学同窓会連絡会との連携事業
 ①第29回全国私立医科大学同窓会連絡会「西部会」に出席し、同窓会が抱える問題と解決法について協議を行った。

②第30回全国私立医科大学同窓会連絡会「全国会」に出席し、出席各校と情報交換を行った。

5) 広報事業

- ①機関紙「仁泉会ニュース」を年6回発行した。
- ②フェイスブック及びホームページにて、各種案内及び母校の情報提供を行った。

6) 会員に関する事項

①新入会員に関する事項

平成31年4月の入学生は112名、令和2年3月の卒業生は99名であり、令和元年度入会者は211名である。

②会員数に関する事項

令和2年3月末日現在の会員数は5,639名である。そのうち住所不明等による郵送停止の会員は277名である。

③物故会員に関する事項

令和元年度に届出のあった物故会員は57名である。

④会費免除者に関する事項

令和元年度より会費免除となった会員は28名である。令和2年3月末日現在の長寿会員(免除会員)数は599名である。

7) 役員及び会議に関する事項

①理事会役員に関する事項

令和2年3月末日現在の役員は次の通りである。

理事長1名、副理事長3名、常任理事6名、理事12名、監事3名、参与6名 合計31名

②会議に関する事項

令和元年度に開催した会議及び役員が出席した会議は次の通りである。

- (1) 総会1回、評議員会1回、理事会6回、監事會1回。
- (2) 第29回全国私立医科大学同窓会連絡会西部会及び第30回全国私立医科大学同窓会連絡会全国会に仁泉会役員が出席し同窓会活動について協議を行った。
- (3) 支部会に16回に出席した。

以上

令和元年度収支決算書総括表

自平成31年4月1日～至令和2年3月31日決算

(単位 円)

科目	合計	一般会計	基金特別会計
I 収入の部			
基金収入	29,741	0	29,741
入会金収入	1,750,000	1,750,000	0
会費収入	22,920,000	22,920,000	0
学生会費収入		1,458,000	
寄付金収入	0	0	0
雑収入	3,097,692	3,097,527	165
奨学金返還金	6,774,000	0	6,774,000
繰入金収入	2,000,000	2,000,000	0
当期収入合計(A)	38,029,433	31,225,527	6,803,906
前期繰越収支差額	36,035,804	16,906,848	19,128,956
収入合計(B)	74,065,237	48,132,375	25,932,862
II 支出の部			
事業費	15,003,400	10,203,400	4,800,000
管理費	15,306,249	15,273,316	32,933
特定預金支出	1,000,515	1,000,515	0
繰入金支出	2,000,000	0	2,000,000
当期支出合計(C)	33,310,164	26,477,231	6,832,933
当期収支差額(A)-(C)	4,719,269	4,748,296	-29,027
次期繰越収支差額(B)-(C)	40,755,073	21,655,144	19,099,929





祝・入学

第75期生112名の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今年は新型コロナウイルス感染防止の為、残念ながら入学式は中止となりました。

新入生に向けた大槻学長からのメッセージと、当日ご挨拶予定であった安藤理事長の挨拶文を掲載いたします。

2020年度入学者の皆さんへ

大阪医科大学学長 大槻勝紀

本日、大阪医科大学医学部および看護学部に入学されました医学部第75期生112名、看護学部第11期生89名の新入生の諸君、並びに保護者の皆様、誠にご入学おめでとうございます。是非とも令和最初の入学式を盛大に挙行したかったのですが、ご存知のように新型コロナウイルス感染の拡大により、やむなく入学式を中止することになりました。さらに現在のところ4月30日まで学生の大学内への立ち入りが禁止されています。入学式に代わり新入生のオリエンテーションを4月3日までに分散して行う予定です。一部、Moodleを用いた授業や課題を提示しますので授業開始までに自学自習をしてください。この1カ月は人生でも滅多に得られない自由な時間です。この時間を医療系学生としてどのように過ごすのか、これから先の大学生活に大きく関わってきます。

新入生諸君には本学の歴史を知ってもらう上で、「建学の精神」についてお話しします。初代理事長吉津度先生は「建学の精神」として「医育機関の使命は医学教育と医学研究であり、またそれらは実地の医療に活かすことで達成される。」と唱えました。本学が創立された昭和2年は昭和の大恐慌の最中で、中国、ハワイ、ブラジルなどへ移民団が結成された時期でもあります。

ました。

当時、移民団での医師不足が社会問題となり、衆議院議員であった吉津度先生は現在の京阪電気鉄道株式会社から財政援助を受けて、本学が設立されました。本学の構想には看護学校の設立も謳われていました。そのため学歌には移民団への医師派遣の想いが込められています。学歌の第5節の歌詞をご覧になってください。そこには「南溟の空遠く、アマゾンの岸の花、崑崙か、ゴビの原など」と謳われ、本学は今でいう国際化を目指した大学でもありました。また「実地医療に活かす」という精神は、今なお阪神淡路大震災、東日本大震災や熊本地震などの救援活動や、地域医療として兵庫県や高知県への医師派遣事業として受け継がれています。そのため今一度、本学に入学してどのような医師や看護師になりたいのか自分自身に問い直す良いチャンスかもしれません。

2021年4月1日に大阪医科大学は大阪薬科大学と大学統合する予定です。そのため諸君は大阪医科大学としての最後の新入生です。今後は大阪医科大学として医学部、看護学部、薬学部を備えた医療系複合大学として発展ていきます。他大学の医学部や看護学部ではまねのできない医療系大学と一緒に築いていきたいと思います。キャンパスで皆様方と会える日を楽しみにしています。ご入学、誠におめでとうございます。

祝辞

一般社団法人大阪医科大学 仁泉会理事長 安藤嗣彦

大阪医科大学医学部第75期並びに看護学部第11期の新入生諸君、御入学誠におめでとうございます。御両親はじめ御家族の皆様には感慨ひとしおのことと存じ、心からお慶び申し上げます。

私は大阪医科大学の医学部の同窓会組織一般社団法人仁泉会の理事長の安藤と申します。この良き日に同窓会を代表して、一言お祝い申し上げます。

諸君達は長く、苦しい受験地獄よりやっと解放され、ほっとされている事と思います。しかしながら、これからが医学・看護の道を極める第一歩を踏み出す時でもある事を肝に命じて下さい。

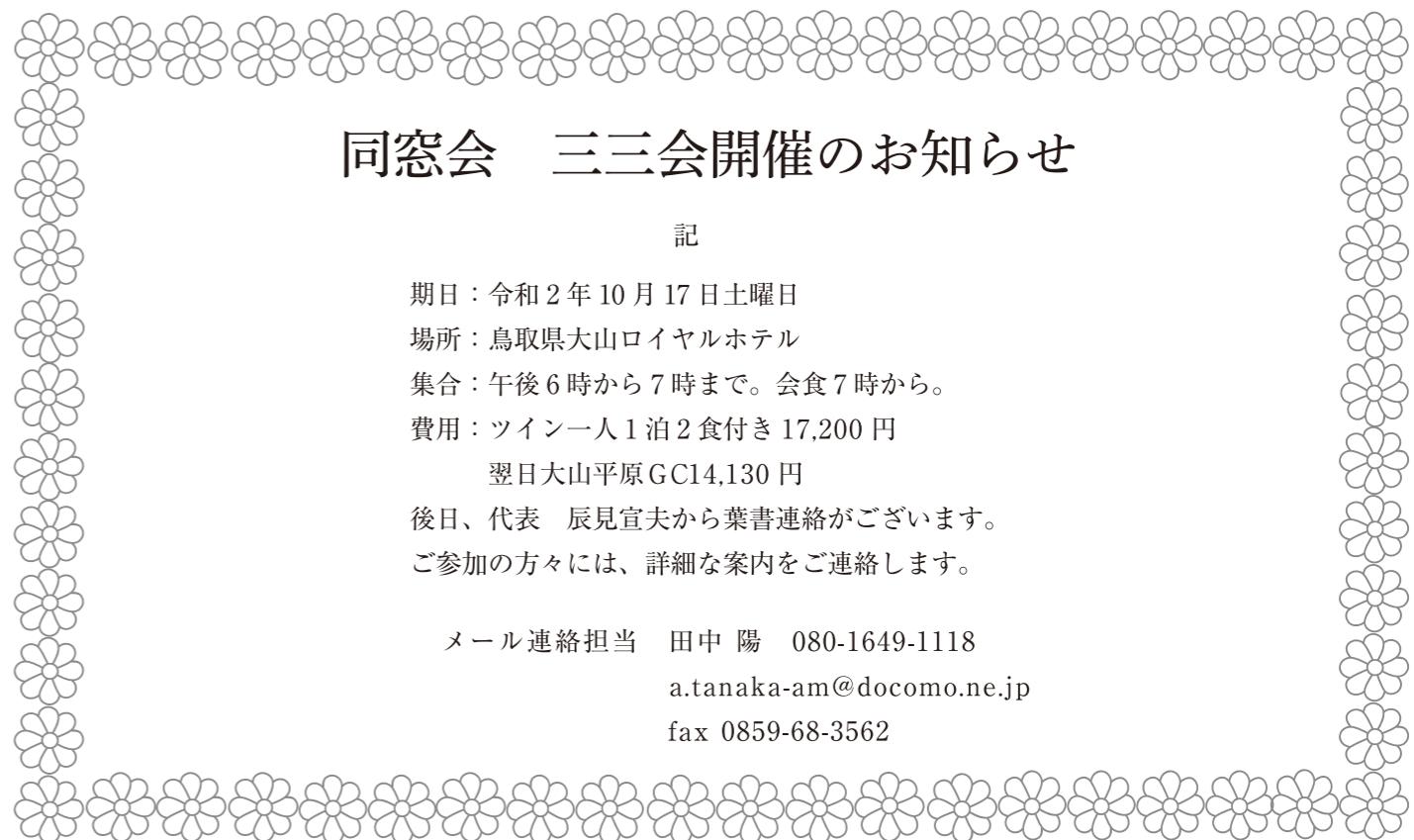
大学卒業後、諸君達が治療や検査に受診される患者さんは、医学の最高峰の大学病院で身を

委ねる事を目的に受診されている事を忘れないで下さい。その為には今から授業を受け、本を読む習慣を身につけて下さい。また同時に悩んでおられる患者さんの心の内を理解する心情豊かな精神の育成も必要です。まずはクラブ活動で同級生、先輩、後輩との友情を築いて下さい。本学には種々の体育会系、文科系のクラブがありますので、是非入部して下さい。決して勉学が疎かになる事はありません。

もう一つ、諸君達は本学の歴史、建学の精神を学んで下さい。学歌を謳えば自ずと本大学の目指す理念が理解できます。

6年後卒業した時には、必ず母校愛が芽生えていると思います。

悔いのない学生生活を送り、人に尊敬される立派な医師、看護師となられる事を望み、私のお祝いの言葉とさせていただきます。



同窓会 三三会開催のお知らせ

記

期日：令和2年10月17日土曜日

場所：鳥取県大山ロイヤルホテル

集合：午後6時から7時まで。会食7時から。

費用：ツイン一人1泊2食付き17,200円

翌日大山平原GC14,130円

後日、代表 辰見宣夫から葉書連絡がございます。

ご参加の方々には、詳細な案内をご連絡します。

メール連絡担当 田中陽 080-1649-1118

a.tanaka-am@docomo.ne.jp

fax 0859-68-3562



祝・摂南大学特任教授ご就任！ 坂根貞樹先生（学30期）

ご挨拶

文責／坂根貞樹（摂南大学農学部食品栄養学科
特任教授 学30期）

令和2年4月1日から摂南大学農学部食品栄養学科の特任教授に就任いたしました。大阪医科大学および市立ひらかた病院在職中、永年にわたり、仁泉会の先生方には大変お世話になり、心から御礼申し上げます。

昭和56年に大阪医科大学を卒業、当時の第1内科学教室（茂在敏司教授）に入局し、全身を診る、現在の総合診療にも匹敵する正統的な内科の診療を学びました。内分泌代謝研究室に所属し、主として甲状腺疾患に関する臨床研究に携わり、米国留学後は、大澤伸昭教授、花房俊昭教授のもと、幅広い守備範囲の内科学教室で診療、教育とともに、医局運営にも従事させていただきました。平成元年には、主要な関連病院の1つである市立枚方市民病院に赴任、以後19年間にわたり、自治体病院での診療、病院経営に関わることになり、この間、新病院建設という大きなプロジェクトを遂行できることは、得難い経験となっています。

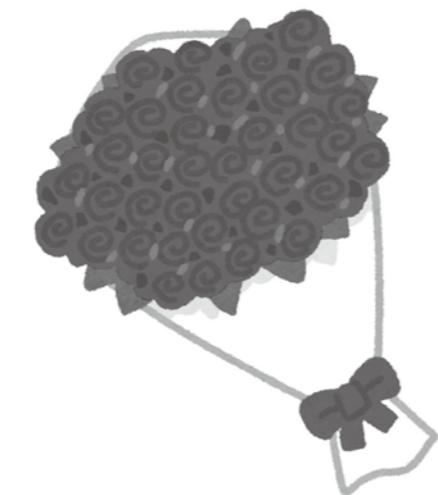
この度、定年退職を目前に控えた時期に、ご縁がありまして、摂南大学枚方キャンパスに新設された大阪府下唯一の農学部で教鞭をとることになりました。老兵ではありますが、長年にわたる診療経験を生かして、管理栄養士を目指す学生に、将来の医療スタッフとして、医学の素養を身に着けてもらうよう、若返ったつもりで頑張りたいと思います。

仁泉会の皆様には、学生の実習等、何かとお世話になることもあろうかと存じます。今後ともなにとぞよろしくご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



**坂根貞樹先生
ご経歴**

昭和56年3月	大阪医科大学卒業
昭和58年7月	松下電器健康保険組合 松下病院 内科医員
平成元年7月	米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) 内科学・内分泌代謝科 客員研究員
平成3年2月	大阪医科大学 助手
平成3年3月	医学博士 学位授与
平成8年7月	大阪医科大学 学内講師
平成10年4月	大阪医科大学第一内科 医局長
平成13年5月	市立枚方市民病院 内科部長
平成15年5月	市立枚方市民病院 診療局長 兼 内科主任部長
平成16年4月	大阪医科大学 臨床教育准教授
平成18年4月	市立枚方市民病院 副院長 兼 内科主任部長
平成24年4月	大阪医科大学 臨床教育教授
平成26年9月	市立ひらかた病院 副院長 兼 内科主任部長



祝・大阪医科大学病院病院長ご就任！ 南 敏明先生（学36期）

ごあいさつ

文責／南 敏明（大阪医科大学病院 病院長、
大阪医科大学麻酔科学教室 教授 学36期）

2020年4月1日、大阪医科大学病院病院長の職を拝命致しました。新型コロナウイルス感染者増加の中、重責を担うこととなりました。宜しくお願ひ申し上げます。

仁泉会ニュースに顔写真付きで掲載していただけるのは、2002年麻酔科学教室教授就任、2011年第63回西日本医学生体育連盟理事長就任時に次いで3回目だと思います。ちょうど、9年周期となりますが、明らかに老けてしまいました。

2027年に迎える大阪医科大学創立100周年の記念事業として、病院新本館の建築が、「超スマート医療を推進する大学病院」を基本方針に掲げスタートしています。2016年3月、病院西側に「各手術室の主用途に応じた専門性だけではなく高い汎用性を両立する」コンセプトが盛り込まれた中央手術棟が竣工しました。中央手術棟では、医師・看護師・薬剤師・臨床工学士・中央材料室・物流・施設・事務によるチーム医療が実践され、24時間断らない中央手術室が運営されています。手術症例数も大幅に増加して、2019年には年間12,557例の手術、7,272例の麻酔科管理症例が施行されました。現在の病院5号館と臨床講堂棟を取り壊し、2022年には最新設備を導入した12階建ての病院新本館A棟が、2026年には病院新本館B棟が建築される予定です。そして、病院新本館A棟1階には、大阪府三島救命救急センターの三次救急機能が移転されます。私は、大阪医科大学新本館建築プロジェクト推進会議議長も併任しており、10数年間大学病院の建築に関わらせて頂くことになります。ちょうど病院新本館の建築が完了した年に、私は麻酔科学教室25年間の教授職を退任することになります。私自身は、病院新本館で勤務することはありませんが、自分自身が将来入院する時をイメージし、次世代へ夢のある病院建築、100周年事業への橋渡しの一翼を担えたらと考えています。

今後も、大阪医科大学病院のために御指導、御鞭撻を、宜しくお願ひ申し上げます。



**南 敏明先生
ご経歴**

1987年3月	大阪医科大学 卒業
1987年6月	大阪医科大学麻酔科学教室に入局
1993年3月	大阪医科大学大学院修了、医学博士
1993年4月	大阪医科大学麻酔科学教室 専攻医
1993年8月	大阪医科大学麻酔科学教室 助手
2001年1月	大阪医科大学麻酔科学教室 学内講師
2002年4月～	大阪医科大学麻酔科学教室 教授
2005年10月～	大阪医科大学病院 中央手術部部長
2020年3月	関西医科大学客員教授
2006年6月～	学校法人大阪医科大学 評議員
2018年3月	大阪医科大学病院 副院長
2010年6月～	大阪医科大学病院 医療安全推進部部長
2012年4月～	大阪医科大学病院 病院新本館建築プロジェクト推進会議議長
2020年3月	大阪医科大学病院 緩和ケアセンター長
2016年4月～	大阪医科大学病院 病院新本館建築プロジェクト推進会議議長
2018年9月	大阪医科大学病院 病院新本館建築プロジェクト推進会議議長
2018年9月～	大阪医科大学病院 緩和ケアセンター長
2020年3月	大阪医科大学病院 臨床工学室室長
2019年4月～	大阪医科大学病院 病院新本館建築プロジェクト推進会議議長
2020年3月	大阪医科大学病院 病院新本館建築プロジェクト推進会議議長
2020年4月～	大阪医科大学病院 病院新本館建築プロジェクト推進会議議長
2020年4月～	大阪医科大学病院 病院新本館建築プロジェクト推進会議議長
2020年4月～	大阪医科大学病院 病院新本館建築プロジェクト推進会議議長
1994年11月	平成6年度日本医師会医学研究奨励賞
1996年5月	平成7年度大阪医科大学仁泉会研究奨励賞
1996年5月	大阪医科大学第2回盛記念学術賞
1998年4月	1997年度日本麻酔科学会 Astra Research Award
2017年9月	科学研究費助成事業審査委員表彰

受章・受賞報告

下記の先生の受章・受賞が判明いたしました。

母校同窓会として慶事でありますので、ここにご報告させていただきます。

旭日単光章

学部15期 横山 閩先生 スポーツ振興功労

瑞宝双光章

学部18期 小川 翼先生 学校保健功労

日本医師会赤ひげ功労賞

学部11期 辰見宣夫先生

受章のお知らせ

文責／安藤嗣彦（学20期）

愛媛県在住の学部15期の横山 閩先生が、この度、春の叙勲で旭日単光章を受章されましたのでお知らせいたします。

先生は高校時代よりラグビーを始め、本学のラグビー部では巨体を活かし、フォワードの要として活躍されていました。卒業後は旧板谷外科学教室で血管外科を専門に診療され、学位授与後は故郷の愛媛県の横山病院で院長に就任され、現在は老人保健施設の施設長をされています。先生は今でもオールドランナーとしてプレイされ、長期間愛媛県ラグビーフットボール協会の会長を歴任さ

各地で喜びの受章・受賞等あれば、事務局宛書面、新聞などをお送りください。
原稿をお届けください。
本誌にて広く紹介させていただきます。

辰見宣夫先生「日本医師会赤ひげ功労賞」受賞の報告

文責／上野 豊（学27期）

辰見宣夫先生、「日本医師会赤ひげ功労賞」受賞、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。辰見先生は、親子二代に渡って大岩という茨木市の山間部にある診療所で地域住民のために診療に従事してこられました。特に、訪問診療に力を入れられ、現在も山間部を車で回っておられます。また、永年、茨木市医師会の役員（理事、副会長、議長）としてご

尽力頂いております。茨木市医師会としては、先生の今までのご功績を鑑み、「日本医師会赤ひげ大賞」に候補者として推薦させていただきました。

残念ながら、大賞ではありませんでしたが、功労賞を受賞されました。

同じ茨木市医師会員として、また、大学の後輩として悦ばしい限りです。

辰見宣夫先生におかれましては、益々ご健勝で今後の活躍をお祈り申し上げます。

東雲 出張版

※「東雲」は文芸部の部誌のタイトルです。



ザ・ブレイカー
著者／兎月山羊

この本では現代社会よりも技術がさらに高く、そんな今の世界の延長線上とも言えるような世界で起こる先端科学犯罪を解決するという話である。その先端科学犯罪の題材としてiPS細胞が扱われていた。iPS細胞と聞いてどんなことを思い浮かべるだろうか？一般的には病気の原因解明や新薬を作るために使われているといった良いイメージがあると思われる。しかし、iPS細胞は技術の一つであり、悪用される可能性もある。分かりやすい例を挙げるとすれば、機械の部品を組み立てて車という今ではよく走っているところを見かける便利な乗り物がある。しかしながら、戦時中では戦争のための武器が似たような技術によって作られている。現代社会では科学の進歩が著しく、それに伴って新しいことが発見され、様々な技術が開発されたことにより便利な世の中というものになってきている。知識や技術の使い方による危険性という今現在の私たちがそれを扱っていく上で知っておかなければいけない物を学ぶいい機会になるのではないかだろうか？

医学部3回生 文芸部 ころ

仁泉ひろば

jinsen-park

COVID19に想う

文責／安藤嗣彦（学20期）

昨年暮に武漢で発生した新型コロナ感染症（COVID19）はまたたく間に全世界的な感染症に変貌し、ヨーロッパ諸国、アメリカ合衆国では驚異的な感染者数となり、死者数も毎日のように増加している。我が国でも、横浜港でのクルーズ船並びに北海道での中国観光客によると思われる発生者の報告後、またたく間に日本全国に拡散し、毎日報告される感染者数・死者数に加え、有名人の罹患も話題となり、日本中がこの感染症でパニック状態となっている。大都市の指定医療機関にはPCR陽性患者が殺到し、ICUは肺炎併発で埋まりかかりつけの患者さんも受診できないばかりか、定期手術も中止となっている。又、医師並びに看護師を含めた医療関係者の集団感染（クラスター感染）も問題となっている。

当院でも3月初旬より、感染対策として、来院者全員にアルコールによる手指消毒、体温測定、マスクの着用を徹底し、発熱者には、院外の駐車場での問診、診察、投薬を心がけている。扉、窓はオーブンし、空気清浄機（除菌作用あり）を至る所に設置した。従業員の感染予防の為、受け付けにはビニールカーテンも取り付けた。私を含め、いつ感染するか、感染した場合の休診等が頭を過ぎり、戦々恐々の毎日となっている。患者さんの方も医療機関での感染を恐れ受診抑制が顕著となると共に、長期投薬（2～3ヶ月）の希望者も多く、このままではコロナ感染で倒れる前に、医療機関の経営も危ぶまれている。アメリカやヨーロッパでの感染者（抗体保有者）は20%近いとの報告もあり、連日報道されているPCR陽性者の数十倍との報告もある。これが更に上昇すれば、蔓延状態となり終息に向かうと思われる。

人類は過去に何回ものウイルス感染症や細菌

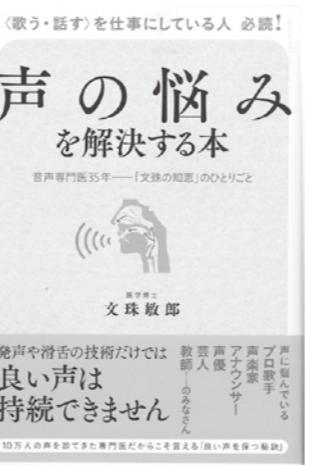
性感染症の世界的蔓延で多くの人が犠牲となつた。グローバル社会の現在では、あつという間に全世界へ拡散する。しかしながら過去の世界的ウイルス感染症であっても、ほとんどは蔓延期を向かえ、自然に終息している。医学的知識のなかった時代は、見えない病原体の恐怖に戦き、その恐ろしさの噂が噂を呼び、人々は怪しげな民間療法や祈祷に身を委ねる以外に方法はなかったのでしょうか。現在は、ウイルスのゲノム構造まで判る時代、この新型コロナ感染症の治療薬、ワクチン開発は近いと考える。

尚、この感染症では、心疾患、糖尿病の慢性疾患や人工透析をされている方が罹患すると死亡率は高く、喫煙者では更に危険性が増すと云われている。高齢者では、これに輪をかけるとも云われ、後期高齢者の私も感染すれば御院仏である。更に肺炎を併発しても、ECMO適応外と宣告されるのであろうか？

（令和2年4月25日記）



会員著書



声の悩みを解決する本

文珠敏郎（学11期）／著
出版社／現代書林
価格／¥1,300+税



大切な声を守り続ける本

文珠敏郎（学11期）／著
出版社／現代書林
価格／¥1,300+税



文珠敏郎先生（中）二村吉繼（左）、西田真由子（右）

声の悩みを解決する本 大切な声を守り続ける本 文珠敏郎先生（学11期）に寄せて

文責／二村耳鼻咽喉科ボイスクリニック

院長 二村吉繼（学49期）

耳鼻咽喉科診療の中で声の診療は音声言語領域として専門分野の一つであるが、臨床で専門とする耳鼻咽喉科医は多くはない。声は声帯の調節だけでなく、呼吸、咽頭腔での共鳴の調節、さらに情報伝達、歌唱の様に共鳴が芸術として感情を動かす手段にもなり得るなど、範囲が膨大で医療として科学的に捉えた解析をしにくい側面があるからだと考えている。

文珠敏郎先生は大阪市阿倍野区の医院で35年間音声専門の外来をされて多くの芸術家や教師など声を職業として使う方々の悩みを受けて来られた。親子以上に年の離れた私との縁は医師になりたての約20年前、駆け出しの声楽家であった妻の西田真由子が文珠先生の診察を受けたいと門戸を叩いたことであった。更に私は文珠先生が大阪医科大学の学生の時に創部された軽音楽部出身であることも偶然と言い難い縁であった。その後文珠先生の医院で故小池靖夫徳島大学名誉教授との勉強会にお誘いいただきしたことからご縁が深まり、同じ阿倍野区で9年前にボイスクリニックとして耳鼻咽喉科診療所を開設させていただいた。

この2冊の本は文珠先生が長年の診療の中で音声障害の悩みを解決するために声楽家やボイストレーナーとの交流や診療の中で勉強し考えてこられた事がわかりやすく紹介されている。呼吸に焦点を当てた发声法は音声治療の基礎的な方法として取り入れられているが、それだけでなく科学的な側面だけで捉えきれない声のサポートの方法が文珠先生の仁術として詰まっている。私にとっては教科書には書かれない音声診療の指南書として診察室に携えたい本であり、声を職業的に使う方々にとって先生の含蓄が溢れた優しいアドバイスを届ける本である。

僭越ながら文珠先生の教えを授かりました一人として先生への感謝とともに著書の紹介をさせていただきました。

冊子切抜

井戸慎一郎 整形外科医 PRESENTS

特集

クリニックにおけるリアルな腰痛診療

今回の特集。2ページでまとめる

1 腰痛とはどのような病態と考えて診断と治療をするか

腰痛の考え方を従来の病気別とはガラッと変わった方法で説明する。腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症など個別に説明するよりも、まずは「腰痛とはどのような病態と考えて診断と治療をするか」といったアプローチのほうが腰痛の本質に近づけると考える。

本稿が従来の腰痛解説書と一番異なる点は、腰痛と神経痛をわけて考えることである。もちろん、腰痛と神経痛が密接に絡むこともあるが、この2つは治療法がかなり異なるため、別々に治療を考えるほうが治りやすい。さらに、まずは見逃してはならない疾患を鑑別した後に急性と慢性にわけて考える。急性腰痛と慢性腰痛では原因も治療もガラッと異なるからである。

2 診断前に、腰痛をさす重大な疾患を知って見逃さない

危険信号（red flags）を見逃さない。がんの転移や内臓疾患、婦人科系・泌尿器科系の疾患、特に見逃されやすい、腹部大動脈瘤や解離性動脈瘤に注意する。

3 急性腰痛の特徴と診断法、治療法を知る

急性腰痛の中にはけがによる外傷と使い過ぎなどの炎症の2種類があり、微妙に対応法が異なる。また、以下が治療法として重要である。

(1) 安静にしない
「腰痛診療ガイドライン2012」で急性腰痛に対して安静にしないで活動性を維持するほうが早く治るとされて、パラダイムシフトが生じた。

4 慢性腰痛は心理的要素が少ないと多い場合にわけて診療する

教科書ではほとんど記載されていない、疲労性腰痛や姿勢性腰痛を診断し対応する。原因不明の非特異的腰痛にはこの2つの腰痛が含まれている可能性が大きい。

心理的要素が多い場合は、心療内科やカウンセラー、産業医などと連携して総合的に治療をしていく。思い込みは一種の精神的要素ではあるが、自ら気づいてもらう以外、なかなか周りが是正することは難しい。

5 腰痛は運動療法が大事なのに對し、神経痛は薬物療法が主体

腰痛はたとえば体操などの運動療法や生活習慣の改善、職場での環境改善などが重要な治療法となるが、神経痛はほぼ純粋に薬剤を上手に使用することが原則になる。

6 鎮痛薬の分類と使いわけを知る

「腰痛診療ガイドライン2019」でも示されているように、急性腰痛と慢性腰痛での第一選択薬が異なる。鎮痛薬の中で局所の炎症を抑える効果があるのは非ステロイド性抗炎症薬（NSAIDs）だけであり、他の薬剤は骨盤や脳で鎮痛効果を発揮する薬であることを知る。

また、疼痛そのものの考え方もガラッと変わり、慢性疼痛の概念、神経障害性疼痛の概念が確立されつつある。従来の急性疼痛、いわゆる炎症性や外傷性の疼痛に対するNSAIDs一辺倒の治療では対応できないことがわかり、慢性疼痛治療薬や神経障害性疼痛治療薬を数種類使えるようになっているが、まだ臨床現場ではその分類や使い方に混乱がみられる。

★★★2020年4月18日発行の日本医事新報No.5008に

井戸慎一郎先生（学31期）の記事が連載されました。（全26ページのうちP1～2をご紹介）★★★

記事のご紹介

文責／安藤嗣彦（学20期）

国内の多くの医師に愛読されている医学系雑誌の1つに、日本医事新報があります。内容は基礎、臨床を問わずあらゆるジャンルに及び、読者からの質問コーナーもあり、日進月歩の現代医学を考えると、一般臨床医の私にとっては、毎日の診療にかかせないアイテムです。また、年始の特集号には、炉辺闇話（以前は年頭所感）として、大学教授や医師会関係、一般開業医のエッセイもあり、楽しく拝読しています。

今回、ご紹介いたしますNO.5008号には、学部31期の井戸慎一郎先生の腰痛に関する特集

が掲載されています。先生は過去にも多数の整形外科に関連する書籍を出版されると共に、学会誌にも多くの文献を投稿されています。

今回の特集は“クリニックにおけるリアルな腰痛診療”との題名で、先生のこれまでの膨大な腰痛患者さんの臨床経験を基に診断治療に至る過程を分かり易く解説されています。驚くべき事は、この特集が共著でもないにも関わらず、26ページにも及ぶ構成となっている事です。

同窓生としても誇らしく思い、ご紹介いたしました。

冊子切抜

■整形外科

修復困難な腱板断裂に対する鏡視下肩上方関節包再建術

【国内外から本術式に関する報告が増加しており、さらなる普及と発展が期待される】

肩腱板断裂は中高年に多く発症する疾患であり、運動障害・運動時痛・夜間痛の原因となる。肩腱板断裂の治療は保存的治療と手術治療に大別されるが、腱板断裂部の自然修復は得られないため、手術治療が行われることも多い。肩腱板断裂の治療成績は、関節鏡視下腱板修復術の普及に伴い向上しているが、大断裂以上の腱板断裂における再断裂率は依然として高く、修復腱板が再断裂すると、再断裂のない症例に比べて術後成績が劣ることが知られている。

近年、当教室の三幡らは、修復困難な腱板断裂に対する新しい治療法として大腿筋膜を用いた鏡視下肩上方関節包再建術を考案し、優れた臨床成績を報告した¹⁾²⁾。本術式は肉体労働やスポーツ活動への復帰率も高く、これまで治療が困難とされてきた偽性麻痺を有する症例に対しても有用な術式である³⁾⁴⁾。

近年、本術式は国内外で追試され、他施設からも良好な治療成績が報告されはじめた。今後、本術式のさらなる普及と発展が期待される。

【文献】

- 1) Mihata T, et al: Am J Sports Med. 2012; 40(10): 2248-55.
- 2) Mihata T, et al: Arthroscopy. 2013; 29(3): 459-70.
- 3) Mihata T, et al: Am J Sports Med. 2018; 46(5): 1077-83.
- 4) Mihata T, et al: Am J Sports Med. 2018; 46(11): 2707-16.

【解説】

長谷川彰彦、三幡輝久*

大阪医科大学整形外科 *准教授

★★★2020年5月30日発行の日本医事新報No.5014に
長谷川彰彦先生（学51期）の記事が
掲載されました。★★★



エッセイ

エライからエライ (1)

西村 保 (学4期)

格付け（身分、位、等級）一広辞苑一が最も厳しいのは軍隊である。これは時代を越え、国境を越えても変わらない。軍隊に次いで格付けが厳しいのは警察であろう。

警察には現場組と、行政・事務組とがあるが、私達にとって馴染み深いのは現場組である。

(巡査) - (巡査長) - (巡査部長) - (警部補) - (警部) - (警視) - (警視正) - (警視長) - (警視監) - (警視総監) の10階級である。

巡査と巡査長は軍隊で云えば兵隊である。所謂お巡りさんであり、私達にとって最も身近な存在である。巡査部長は下士官で、両者を束ねる役割りを持っている。警部補は准士官か少尉であり、署係長、本部主任になる。警部は中・大尉であり、署課長代理、署課長、本部係長となる。ノンキャリア組は殆どここまでである。

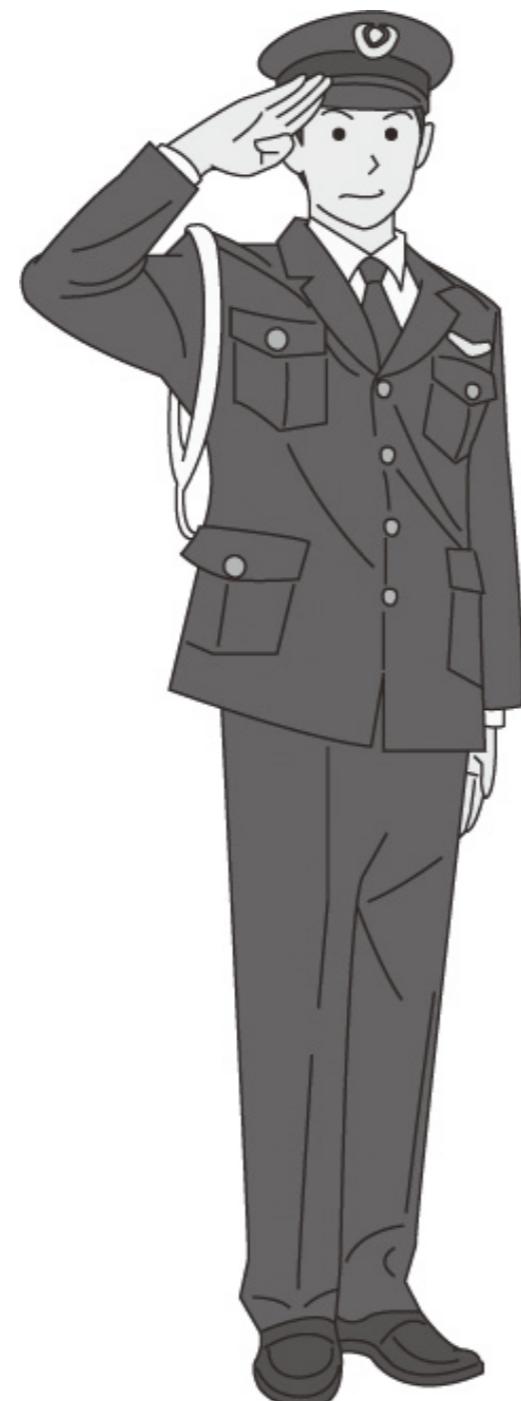
これに反してキャリア組は警部補から始まり、1年で警部となり、さらに3年か4年後には警視か警視正となる。警視は本部課長、署長、管理官となる。キャリアの中でも特に東大出となると28才前後で署長となるケースもある。ノンキャリアでは定年前にやっと到達する最高の地位である。

この差からキャリアとノンキャリアとのきしみは、昔からずっと続いている。

警視正は方面本部長、本部課長に、警視長は人口の少ない県の本部長となる。警視監になると、警視総監は別格として、人口の多い大阪、神奈川、

京都、兵庫、福岡などの本部長となる。

戦前の警察は強権、強圧的でサーベルを下げ、庶民には「オイ、コラ」と声をかけることが多かったが、戦後の民主警察は親しみ易く、ソフトな存在となっている。



まんが42

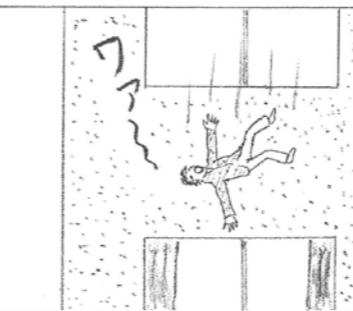
本ちゃんぽん太 (学31期)

古い歌4 ブラック編

壁ぎわに
寝返りうつて

勝手にしゃがれ

沢田研二

僕は死ぬまで君を
離さないぞ
いいだろ…

君といつまでも

加山雄三

空よ
教えてほしいの
あの子は今
どこにいるの

空よ

トワ・エ・モア

なぜだか
この手を
すりと抜けた

赤い風船

浅田美代子

何か悪いのか
今もわからない
誰のせいなのか
今もわからない

手紙

由紀さおり

半年過ぎても
あなたって
手も握らない
I will follow you

赤いスイートピー

松田聖子



本部だより

会員訃報

次の会員が亡くなられました。
慎んでご冥福をお祈り致します。

事務局編集係

高医14期 伊藤健二先生

令和2年3月19日老衰・誤嚥性肺炎・脳梗塞後
遺症の為ご逝去（98歳）。昭和19年卒。

昭和20年に海軍少尉として任官されました。
その後、奈良県立医科大学、大阪大学生理学
教室での勤務を経て昭和32年に尼崎市にて
内科をご開業になり、平成14年8月までのなが
きに亘り地域医療に貢献されました。

ご遺族 長男 祐一様

高医17期 中村 寛先生

令和2年5月13日誤嚥性肺炎の為ご逝去
(96歳)。昭和23年卒。

卒業後、大津日赤病院外科に勤務されました。
昭和30年に大阪市東成区にて中村医院（内科・
外科）を開設され、地域医療に貢献されました。
また仁泉会期評議員として会務運営にもご
尽力いただきました。

ご遺族 長男 敬夫様 次男 明裕様（学32期）

高医19期 吉川純一郎先生

令和2年2月14日老衰の為ご逝去（96歳）。

昭和25年卒。

卒業後、和歌山紀北病院での実地修練を経て、
昭和26年に国立大阪病院産婦人科に入局され
ました。昭和33年～34年京都府立医科大学選
科で病理学を専攻され、修了後大阪市生野区
にてご開業になり、地域医療に尽力されま
した。

ご遺族 長女 吉田弥生様

高医20期 保倉賢造先生

令和2年3月16日老衰の為ご逝去（92歳）。

昭和26年卒。

卒業後、大阪大学医学部附属病院眼科に入局
されました。国立大阪病院眼科部長、大手前

病院眼科部長をお務めになられた後、大阪市
北区にて保倉眼科を開設され、ながきに亘り
地域医療の為に尽くされました。

ご遺族 長男 透様

学部3期 貴島和彦先生

令和2年3月16日慢性呼吸不全、慢性閉塞性
肺疾患の為ご逝去（90歳）。昭和29年卒。

卒業後、大阪市立大学病理学教室での勤務
を経て、生誕地の八尾市にて内科・小児科を
ご開業になり、平成25年84歳まで地域医療に
貢献されました。また長年大阪府保険医協会
の活動にも尽力されました。

ご遺族 長男 和久様

学部6期 橋本悌三先生

令和2年4月8日老衰の為ご逝去。（92歳）。

昭和32年卒。

大阪市北区にて皮膚科をご開業になり、地域
医療に貢献されました。

ご遺族 妻 京子様

学部11期 大川博之先生

平成31年1月6日パーキンソン病の為ご逝去。
(81歳)。昭和37年卒。

卒業後、母校胸部外科に入局されました。昭和
48年に大阪市都島区にて外科をご開業になり、
平成22年にご病気の為閉院されるまで地域医
療に尽力されました。

ご遺族 妻 淳子様

学部12期 濱田 徹先生

令和元年8月27日急性心不全の為ご逝去。

(82歳)。昭和38年卒。

昭和45にお父上の医院を継承され、京都市
にて外科・麻酔科をご開業になり、約30年間
を地域医療の為に尽くされました。

ご遺族 長男 敬様

学部26期 長谷川義博先生

令和2年4月17日脳幹梗塞（右椎骨動脈閉塞）
の為ご逝去（72歳）。昭和52年卒。

卒業後、母校皮膚科に入局されました。昭和
54年1月より助手として、昭和62年10月より
講師としてご勤務になり、平成7年6月に京都
市にて長谷川皮フ科医院を開設されました。
平成21年2月に閉院の後も同年3月より亀岡
市陸会ムツミ病院にてご勤務になり、近畿厚
生局京都事務所保険指導医をお務めになる
など地域医療に貢献されました。

ご遺族 妻 千春様



編集部より

会費納入のお願い

年会費

令和2年度 10,000円

令和元年度 10,000円

平成30年度 10,000円

納入のご協力をよろしくお願い致します。

事務局 会計係

編集部より

写真・絵画などの作品募集のお知らせ

仁泉会ニュースの表紙を彩るお写真や絵画などの作品を募集します。季節の風景、お住まいの地域の街並みの写真、ご趣味で描かれている絵画などをお送りください。なお、掲載時期及び掲載の有無に関してはご一任くださいますようお願い致します。



写真ご投稿 「高槻市民憲章」西村 保先生（学4期）

メディア掲載・書籍発行の際は 編集部にお知らせください

テレビ、ラジオ、新聞などのメディアにご掲載になられた会員諸先生方がおられましたら掲載された原本を同封のうえ、事務局までお送りください。（自薦・他薦は問いません）

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636
e-mail / jimu@jinsenkai.net

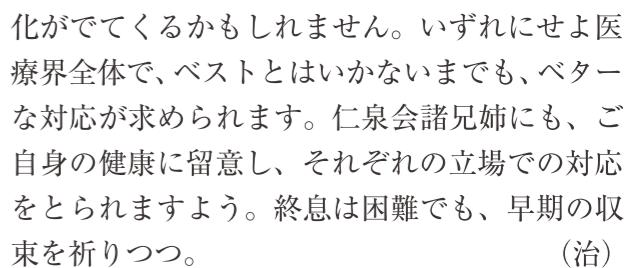
支部会・クラス会開催にあたって

支部会・クラス会開催にあたり、ご案内発送や出欠の集計等を仁泉会事務局にてお手伝いさせていただきます。お気軽にご相談ください。

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636
e-mail / jimu@jinsenkai.net

編集後記

お気づきでしょうか。母校入学式での学長大槻先生、本会理事長安藤先生の祝辞が掲載されていますが、これは入学式当日挨拶予定であった原稿です。新型コロナ感染症の影響で、入学式は中止されました。また、5月31日の仁泉会総会も当初京都で開催予定でしたが、規模を大幅に縮小し、懇親会も取りやめ、限られた人数で母校開催になりました。この稿を書いている時点では、緊急事態宣言も解除され、徐々に日常生活が戻りつつありますが、依然予断を許さない状況です。医療界では、実際コロナに対応している施設だけでなく、その他にも様々な影響がでています。今後、医療のあり方自体に変化がでてくるかもしれません。いずれにせよ医療界全体で、ベストとはいかないまでも、ベターな対応が求められます。仁泉会諸兄姉にも、ご自身の健康に留意し、それぞれの立場での対応をとられますよう。終息は困難でも、早期の収束を祈りつつ。(治)



地元で 50年



ハーダルをジャンプ!!

薬袋・診察券・カルテなどの
医療印刷

タツミ印刷株式会社

お気軽にご相談下さい。

池田・高槻
tel: 072-761-8434